



# ちとせたい

学校だより 第 3 号  
令和 5 年 6 月 3 0 日  
六ヶ所村立千歳平小学校  
文責：教頭

## これからの時代を生きる

校長 尾崎 修一

頬を伝う風が夏らしくなったと感じる今日この頃、日ごとの気温上昇とともに、学校園の植物は生長を加速させています。

さて、大きな行事の1つである『運動会』が終わった直後から、勉強中心の学校生活に戻りました。授業中に校内を回って見ると、子どもたちの机にはiPadがあり、様々な場面で活用、いつでも使える状態が当たり前となってきました。5～6年前までは考えられなかった（見られなかった）授業風景です。



10月27日（金）に、本校、南小、第二中、六ヶ所高校を会場に『全日本教育工学研究協議会（JAET）全国大会青森大会』が開催されます。国のGIGAスクール構想により、小・中学生に一人一台のタブレット端末が配置され、文房具の1つとして活用する授業をご覧に入れるのです。たぶん、北海道から沖縄まで、日本各地からの来村となるでしょう。

GIGAスクール構想が打ち出された2019年当時の日本は「学校のICT環境整備は脆弱であり、地域間での格差が大きい整備状況」「学校の授業におけるデジタル機器の使用時間はOECD加盟国で最下位」でした。それを改善するため「児童・生徒に一人一台のタブレット端末」の文部科学大臣メッセージが2019年12月19日付けで出され、GIGAスクール構想が動き始めることになったのです。しかし、その矢先の2020年3月、未知の病原体「新型コロナウイルス」が現れ、感染拡大防止のために全国の学校が約1ヶ月間一斉休校となる非常事態。もし、この時、全児童・生徒がタブレット端末等を持っていたとすれば、休校中でもオンラインで授業（学習）は可能だったものの、実際にはありませんでした。このコロナ禍への突入で、教育分野のデジタル化の遅れが顕在化し、GIGAスクール構想の実施が予定より前倒しされました。その結果、2021年度3月期で全自治体の96%程が、小・中学生一人一台教育用端末の整備を終えました。たった1年での急ピッチ作業です。

ただ、タブレット端末は整備されたものの、どの教科でどのように活用できるのか、そもそもタブレット端末をどのように使えばいいのかといった、ハード・ソフトの両実用面での問題が浮上しました。あまりに急速に進められたため、使う側（学校・教師）が追いついていないというのが当時の実状で、そこから各校（教職員）・各市町村の試行錯誤が始まったのです。それから3年。まだまだ途上段階ですが、ようやくタブレット端末を活用した授業・学習方法が、全国的に“なんとなく”形作られ、定着しつつあると感じます。このように、学校教育でのデジタル化が次々と進められているのが現状です。

実生活においても、店に行くこと無く、実物やお金を手にすること無く、時刻も気にすること無く買い物ができたり、書物が読めたり、遠くの人と顔を見ながら話ができたりするなど、様々な分野でデジタル化が急激に進み、その恩恵は多大なものがあります。しかし、一方で、デジタルでなければ対応できないことが増えたが故に、生活自体に支障を来したり不便を感じたりしている人（俗に言う『デジタル難民』）がいるのも事実です。一昔前では全く考えられなかった世の中に急変化したと感じています。そう思いませんか？

今後、ますますデジタル化が進む社会は、想像を遙かに超える未知の世界でしょう。そのような予測不能な社会で暮らすことになる子どもたちに、生きていくための術となる知・徳・体の様々なスキルを身に付けられる学校でありたいと考えています。



## 第49回全日本教育工学研究協議会全国大会に向けて



6月28日（水）、宮城教育大学教科教育学域（情報科教育）講師 岡本恭介 氏

を本校にお招きし、授業の様子を参観していただきました。3年体育科「表現運動～リズムダンス～」、6年社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」の授業を公開しました。3年生は、ダンス動画を参考にしながら、自分たちのグループのリズムダンスを完成させるためにがんばりました。6年生は、衣食住の観点から、住やすいのは縄文時代と弥生時代のどちらかについて、メリットとデメリットを比較し、自分の考えを出し合いました。また、当日は、村内の小・中学校の教職員と六ヶ所高校の教職員の方々にも案内を出し、数名ではありましたが、参観いただきました。子どもたちは、真剣に授業に取り組み、ICTを活用した交流や学びに積極的でした。

授業参観後は、岡本先生の指導・助言のもと、授業づくりの話し合いを参観者で行いました。他校の先生方からは、「千歳平小学校での情報活用能力の指導が中学校や高校の指導にも生かされていくと思う。」とお褒めの言葉をいただきました。

全国大会は、10月27日（金）で、全学年が授業を公開します。着々と準備が進んでいます。





## ◎7月の行事予定（6/30現在）

- 3日（月）村教育委員訪問 マス計算コンテスト 清掃週間～7/10
- 4日（火）集金日 1・2プール教室 スクールカウンセラー来校 委員会
- 5日（水）小学校陸上競技記録会（4～6年）
- 6日（木）全校5時間授業 学習参観日 学校保健委員会
- 7日（金）陸上記録会予備日
- 11日（火）1・2年校外学習（村図書館）午前  
6年校外学習（三内丸山，県立美術館）
- 12日（水）6年東北大学出前授業（オンライン）午前  
歯・口の健康児童審査会（中公）午後
- 13日（木）5年宿泊学習（青年の家）※南小と合同～7/14 読み聞かせ
- 14日（金）3・4年プール教室
- 15日（土）小学生海外体験結団式（中公）
- 17日（月）海の日
- 18日（火）スクールカウンセラー来校
- 19日（水）職員会議
- 20日（木）小学生海外体験出発～7/27
- 21日（金）全校5時間授業 1学期終業式
- 22日（土）夏季休業～8/23
- 25日（火）二者面談～7/28
- 27日（木）校内研修

## ■ 子どもたちの活動の紹介① 【全校：体カテスト】

6月15日（木），体育館に於いて，体カテストを行いました。当日は，天候が悪く，体育館で行う種目のみを行いました。全学年が縦割り班（なかよし班）に分かれ，立ち幅跳び・上体おこし・反復横跳び・長座体前屈・握力のそれぞれの種目に挑みました。子どもたちは，担当の先生から実施の仕方についての説明を聞いた後，自分の目標をめざし，各種目に取り組んでいました。



## ■ 子どもたちの活動の紹介② 【4年：校外学習（クリーン・ペア・はまなす）】

6月22日（木），4年生がクリーン・ペア・はまなすで社会科見学を行いました。この日は，自分たちが出したごみがどのように処理されているかを学びました。野辺地町，六ヶ所村，横浜町で出されるごみの量やリサイクルの方法について興味深そうに話を聞いていました。実際に，ごみの焼却炉や大量の空き缶，空き瓶，古紙，ペットボトルを見て，分別することの大切さを実感していました。



## 【 学びを支える5つの約束 】

楽しい夏休みが近づいてきました。六ヶ所村教育委員会では，未来を担う子どもたちの「心身ともに健康な生活」と「学力向上」の実現に向けて次の5つの約束を掲げています。

今一度，確認してみましょう。

- ① 早寝 早起き 朝ごはん  
～ 規則正しい生活が，成長の基盤になります ～
- ② 時間を見つけて たくさん読書  
～ 読書が，心を豊かにし知識を増やします ～
- ③ 増やそう 家での勉強時間  
～ 勉強が，未来の自分をつくれます ～
- ④ 正しく使って上手に活用 メディアとインターネット  
～ 情報モラルを身に付けることがトラブルを未然に防ぎます ～
- ⑤ 体を鍛える 運動・スポーツ  
～ バランスのよい運動が，たくましい心と体をつくれます ～